科目名 Subject	日本語総合Ｌ General JapaneseL		教員名	日本語ﾁｰﾑ	
開講年次	1	開講時期	後期	単位	1
必修／選択	選必	授業形態	演習	時間	30
実践的教育	×				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・ コミュニケーション力
	○	○	◎	◎	◎
科目の概要	この科目は日本語の作文の授業を行う。「身近なトピックスによる表現練習」をテーマに社会問題や学生の関心事、一般的で社会性のあるものを選び、自分の意見や根拠を挙げやすいもの展開しやすいもので考えを文章にする授業です。				
授業の目標	作文の書き方、原稿用紙の使い方、書き言葉、話し言葉の区別をするなど、文章にするときの日本語表現の違いも理解し実際に文章を書くことができる。 作文の内容については、自分の考えや意見、感想をどのようにしたら、相手に確実に理解してもらえるかも検討し、わかってもらえる文章が書くことができる。				
時間外学習 （予習・復習）	この授業に出るまえに何を考え、自分の意見を文章にするアイディアを十分にしてあるかどうかで楽しく書くことができるで、評価が決まります。そのためにはテーマに関係する情報を新聞やテレビやインタネットで調べておいてください。そして忘れないようにメモしておいてください。 復習は30分以上はかけ、次のステップにつなげてください。				
教科書・教材	教科書	トピックによる日本語総合演習　スリーエーネットワーク			
	教材	PC、パワーポイントなどを使い、発表する			
	使用設備・備品	パソコン			
	参考文献				
評価方法	平常時の提出分の内容と回数で40%、期末試験で50%、普段の努力度で10%の割合で80以上はA,70から79まではB,60から69はC、それ以下はDで不可です。				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。				
履修上の注意	テーマやトピックスにいて、事前情報をきちんと収集してから出席してください。作文を完成させたときは必ず提出し、添削を受けてください。				
本科目履修と関連する資格	資格名	なし			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	テーマ「日本の季節」	接続詞を正しく使い、文を長く書くことができる	予習では日本語学校で勉強した作文のルールをメモ書きしておく。また使うことを考えて復習する
第２回	テーマ「好きな季節」	好きな季節を清書し発表し、質疑し、その説明することができる	長い文を書くにはたくさんアイディアを持っていることが重要で予習でも復習でもアイディアをたくさん集めること
第３回	テーマ「困った・嬉しかった経験」（１）	グループに分かれテーマに沿って話し合い。内容が適当かどうかチェックし、訂正することができる	予習では困った、うれしかったことのアイディアを集めること。復習では生かせアイディアを整理しておくこと
第４回	テーマ「困った・嬉しかった経験」（２）400字作文のトライ	サンプルを見て、自分の書きたいことの再考し作文することができる	復習を中心にサンプル文から自分の作った作文をもう一度考えて長い文を作るためのイメージをすること
第５回	テーマ「困った・嬉しかった経験」（３）フィードバック	作文の振り返り　文体の統一と構成も考えられる　気付きから発展もクラスで話し合いをすることができる	作文のフィードバックで先生に直してもらったことをもう一度読んで、家で書き直してみる
第６回	普通態作文「専門について」	丁寧体の文、普通態の文の違いの理解と運用ができる。作った作文を自分で誤用を発見し直すことができる	予習で丁寧体と不通体を下調べをしておく。自分の作った作文の中で統一されていなかった所を復習して確認する
第７回	テーマ「プレゼント」（１）	下書きをし、内容の発表から意見交換　グループ内でアドバイスし、補完できる	下書きはしっかりしておく。下書き次第で作文力はつく。グループ内のアドバイスのメモをみながら、もう一度考える
第８回	テーマ「プレゼント」（２）	ふさわし文法表現、さらに高等な表現にトライし使用できる	前回書いた作文を書き言葉や書き言葉的は表現になおしておく
第９回	テーマ「有名な都市」（１） ふさわしい文法表現・語彙の認知と作文	内容とそこに使われる表現や語彙に留意し文章が書くことができる	世界で一番有名な都市の情報をできるだけ集め、作文にするイメージを作る
第１０回	テーマ「有名な都市」（２） フィードバックとグループ発表	清書とグループで言いたいことが伝わっているかチェックでき、訂正や加筆することができる	清書しグループで評価するので自分の書いたことを説明できるように準備し、できないところは調べておく
第１１回	復習　文体・語彙・構成・段落 間違いだらけの作文の訂正と添削	これまでの総復習　作文のきまりの再確認をし、他人にその間違いを指摘することができる	今までの作文のルールをよく確認しておく。復習では訂正や添削でルールを確認しておく
第１２回	テーマ　予定や感想、意見を書く	テーマをグループで出し合いその中から自分で選び、展開し作文することができる	何かについての予定や感想、意見を３つか４つ考えておく。復習では自分自身で訂正や加筆しておく
第１３回	テーマ　理由や根拠をあげ意見文を書く	納得してもらえる理由や根拠と意見文を構成を考えてから作文の作成をすることができる	作文の構成、起承転結を理由や根拠となる作文のアイディアをメモにしておく
第１４回	テーマ　反対意見が根拠をあげ作文	根拠が明確に書くことができて、それに沿った反対意見が書くことができる	反対意見を書くための「逆説の接続詞」をまとめてメモしておくこと。復習ではうまくいかなかった点の確認と訂正
第１５回	15回の総まとめと試験対策	日本語による意見文や伝達文など文書表現をすることができる	1回から14回までの作文を見直して、1回と最後を比べておく